

令和8年度 6月補正予算案





予算編成の基本方針

3期目就任後の肉付け予算となる今回の補正予算では、これまで築き上げてきた、人と人との絆や府民の皆様との信頼関係を大切にす「あたたかい京都」の上に、子どもから、若者、現役世代、お年寄りまで、誰もが「わくわくする京都」をつくるための歩みをスタートさせるために必要な予算を計上する。

併せて、中東情勢への対応として、国の電気・ガス料金支援に呼応したLPガス利用料金への支援を実施する。



予算の施策体系

I. 「わくわくする京都」に向けた歩みのスタート

1. 子育て環境日本一・京都の深化

2. 世界に輝く京都産業・文化の創造

3. 府民の命と健康を守り抜く安心できる京都の確立

4. 人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

II. 中東情勢への対応

I. 「わくわくする京都」に向けた歩みのスタート

1. 子育て環境日本一・京都の深化



子育て環境日本一・京都の深化

新

京都府子育て環境日本一推進戦略策定費

5百万円規模

「子育て環境日本一・京都」に向けた戦略のバージョンアップ

これまで、「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、
オール京都体制での機運醸成や全国に先駆けた取組を実施



「子育て環境日本一」に向け、新たな歩みをスタート

- 社会全体で子どもを育てる視点の深掘りと先進事例の創出
(例:子どもが社会とつながる、子育てと働くことの両立)
- 子育て中の親や若者などの意見を取り入れる
- 府民の皆様と一緒に取り組む
(京都未来実現会議(仮称)の開催)



若者に選ばれ、子どもたちの笑顔があふれる京都の実現に向けた戦略へ



子育て環境日本一・京都の深化

拡 子育てにやさしい職場づくり事業費

5千万円規模

企業が行う仕事と子育てが両立できる職場環境づくりへの支援を強化

- ☆「職場づくり優良事例推進チーム」を新設し伴走支援体制を強化
 - ☆仕事と子育てを両立しながらキャリアアップを図るための制度の導入
に取り組む府内企業に対する支援を拡充
- ⇒「子育てにやさしい職場づくり」の優良事例を府内企業に広く展開

新 次世代探究トッパー創出事業費

1千万円規模

中学校段階の探究的な学びのモデルを企業等との連携により創出

中学校段階における探究的な学びのトッパーを創出

企業や地域と協働して学ぶことで

「自ら問いを立て、社会と関わる」次代を担う人材を育成





子育て環境日本一・京都の深化

新

女性が織りなす京都の未来づくり事業費

1千万円規模

女性の生きづらさやジェンダーギャップを解消し、女性の活躍を推進

女性のネットワークづくりや女性が活躍できる環境整備に向けた施策を展開

- 地域活動をする若年女性同士の交流会の開催
- 幅広い年代に対するジェンダーバイアス解消に向けた啓発
- 企業の枠を超えた交流による若年女性のキャリアイメージ形成支援



拡

きょうとプレコン推進事業費

1千万円規模

「きょうとプレコン」の取組を切れ目なく幅広い年代に展開

これまで高校生以上の年代を対象にしてきた「きょうとプレコン」について

幼児期から小・中学生に対する取組を強化

☆小学生、中学生、保護者・保育士向けの出前講座用教材の作成と担い手の育成を実施





子育て環境日本一・京都の深化

新 「親育ち支援」の広がり創出事業費

1千万円規模

保育所等における質の高い「親育ち支援」の取組を拡大

- 府が実施した全国初の「親育ち支援」の取組が
今年度から、**国制度として全国展開**

※保護者支援面談加算の創設等



⇒この機会をとらえ、「親育ち支援」の取組を府域全体へ展開するため、
保育所等への助言や、体制整備のため支援を実施

新 きょうと保育キャリアスタート支援事業費

2百万円規模

保育士の人材確保・定着促進に向けた取組を強化

- 保育実習参加前に働くイメージを持ち、府内定着につながるよう

保育所等における有償インターンシップを実施

- 園を超えたつながる機会の創出のため、若手保育士の交流会を開催





子育て環境日本一・京都の深化

拡

子ども銭湯利用促進事業費

府市連携

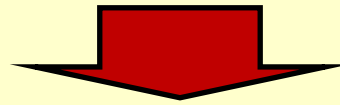
1千万円規模

子どもたちがより一層、銭湯の魅力・文化に触れる機会を創出

当初予算では、将来にわたって銭湯文化を守るため、

令和8年度中の子どもの入浴料の無料化を実施

☆特に週末には子ども連れの利用が増え、利用者・経営者双方から好評の声



より多くの子どもたちが銭湯を体験し、銭湯の魅力・文化に触れる機会を創出するため、京都市と連携して以下の取組を実施

○子ども達が銭湯に来たくなるキャンペーンの実施

○銭湯について学ぶイベントの開催





子育て環境日本一・京都の深化

拡

公立高等学校等教育改革促進基金積立金

62億円規模

高校教育改革に関する国交付金を基金に積立て（事業期間：R8～R10）

新

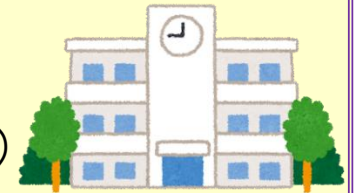
公立高校改革リーディング事業費

6.6億円規模

基金を活用し、公立高校の魅力化に向けた先導的な取組を展開

改革先導拠点校（府立高校等：4校）において、3カ年で取組を展開

【取組内容】 ※計画は国に申請中



- ① 海洋産業の未来を切り拓く人材育成拠点整備（府立海洋高校）
- ② 普通科教育の再設計による理数系人材育成拠点整備（府立乙訓高校）
- ③ 共生社会の形成に向けた包摂的教育のモデル構築（府立京都八幡高校）
- ④ 理工系人材育成に向けたものづくり×科学教育拠点整備
（京都市立京都工学院高校）



子育て環境日本一・京都の深化

新 府立大学学舎・体育館整備費

9千万円規模

老朽化した体育館等の府大施設の基本設計に着手

老朽化した府立大学の体育館について

府立医大と共用可能な形での整備に向けた設計に着手

併せて、効率的な整備に向け多機能講義棟(※)を合築整備しコスト削減を図る

※多機能講義棟: 講義室や、食堂、府民交流スペースなどの導入を想定



新 南部児童相談所あり方検討費

1百万円規模

南部児童相談所の老朽化に伴い、今後の機能強化や整備の方針を検討

施設の老朽化への対応に加え、

一時保護所の個室化など今後の整備方針を検討

2. 世界に輝く京都産業・文化の創造

- (1) 京都産業の未来を切り拓く
- (2) 豊かな恵みをもたらす農林水産業の活性化
- (3) 文化が息づく京都を磨く
- (4) 地域に活力を生み出す交流・連携の推進



(1) 京都産業の未来を切り拓く

京都産業創造プロジェクトの始動

京都産業の強みを活かしたテーマの旗を立て、
エリアごとのゾーン形成から府域全体での産業振興施策に深化



総合計画の改定に先立ち、
先行的に着手すべきプロジェクトについて今回の補正予算で対応

KYOTO伝統こそが最先端プロジェクト

後継者育成や販路開拓、高付加価値化などの取組を含むビジョンの策定

AI×半導体×ものづくり産業プロジェクト

世界の半導体業界を牽引する海外研究機関との共同研究プログラムの実施 等

京都フードテックプロジェクト

農林水産技術センターの移転整備に向けた設計の実施 等



(1) 京都産業の未来を切り拓く

府市連携

新

KYOTO伝統こそが最先端プロジェクト事業費

2千万円規模

京都が誇る伝統産業を継承・発展していくためのビジョンを策定

京都の文化を支える存在であり、海外市場でも高いポテンシャルを有するが、人口減少、ライフスタイルの変化等に伴う国内需要の減少や担い手、道具・原材料等の確保難など構造的課題に直面



伝統産業を世界につながる先端産業とし、次世代に継承するための10年先を見据えたビジョンを策定

- 事業者や有識者、経済界等からなる検討会で議論
- 府市連携でビジョンに盛り込む担い手確保戦略や海外展開戦略に係る調査検討・検証を実施





(1) 京都産業の未来を切り拓く

新

AI×半導体×ものづくり産業プロジェクト事業費

3千万円規模

AIを活用したものづくりを通して京都産業を発展させる環境を整備

○AI活用の専門チームによる包括的なサポートや試作・製品化の支援により、
AIを活用した技術・製品開発を先導するモデル事例を創出

○海外研究機関と府内の半導体関連企業等との共同研究プログラムを実施

府市連携

拡

京都フードテック推進事業費

3.0億円規模

食関連産業の研究開発拠点を整備

○農林水産業の研究拠点となる

新農林水産技術センター(綾部市)の基本・実施設計に着手

○食品加工の研究開発拠点となる

京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ(仮称)の機器を整備
⇒R9年中供用開始予定 (宇治市)





(1) 京都産業の未来を切り拓く

新

けいはんなMIRAIプロジェクト事業費

1.3億円規模

けいはんな学研都市第5期ステージプランに掲げる取組を推進

けいはんな学研都市の第5期ステージプランに掲げる
「未来都市」「人材成長都市」「共創都市」の3つの都市像を
実現するための取組に着手

東西軸連携と国際化の推進に向けた取組

- 関西に点在する研究拠点との連携を促進する組織を設置
- 海外研究機関との連携や外国人研究者との交流等の国際化推進

ステージプラン実現のための具体的取組

- アンドロイドを中心としたロボット研究開発拠点の形成
- けいはんな学研都市全体で取り組むイベントの開催
- レベル4自動運転バスの社会実装に向けた実証実験の実施 等



©FUTURE OF LIFE





(1) 京都産業の未来を切り拓く

新 Tech Design Square Kyoto 推進事業費

7百万円規模

技術とデザインの融合を促すことで中小企業の競争力を強化

技術とデザインの相乗効果によるイノベーションを生み出す拠点
「Tech Design Square Kyoto」を中小企業技術センター内に開設

○AIを活用し、デザインの視点と技術情報を踏まえた企業支援を実施

○アイデアを低コスト・低リスクで迅速に具現化する試作環境を整備
(3Dプリンター等の整備)



新 北部物流最適化推進事業費

2千万円規模

北部地域の地場産業の維持・発展に向けた地域物流の最適化を検討

輸送コストが大きい農産物や水産物の輸送方法や
半島・沿岸地域に集落が点在するエリアの物流体制を検討





(2) 豊かな恵みをもたらす農林水産業の活性化

新

京の地域農業モデル形成プロジェクト事業費

2千万円規模

持続可能な地域農業の実現に向けた支援体制の強化

戦略策定

府や専門家による**推進チーム**を編成し、モデル地域において**地域特性に沿った営農戦略の策定と実践支援を実施**

担い手支援

地域農業の維持発展の担い手となる
親元就農の経営継承準備段階における支援制度を創設

新

京の農業世界展開チャレンジ事業費

2千万円規模

海外における「京もの」の販売促進により、稼げる農業を実現

品質・伝統が評価される**付加価値の高い京野菜等**について

EUや東南アジアなどの海外の高級レストランや小売店への販路開拓を実施



(2) 豊かな恵みをもたらす農林水産業の活性化

新 世界に広がる宇治茶ブランド構築事業費

5百万円規模

宇治茶文化を守り、さらに発展させるための取組を強化

- 宇治茶の海外展開に向け、確かな品質を担保する
新たな宇治茶の認証制度創設(R9予定)に向けた検討
- 「宇治茶文化サポーター」の育成と手摘み人材の確保



拡 豊かな森を育てる府民税事業費

3千万円規模

森林の多面的機能の維持・増進を図るための取組を推進

- 民間と協働して森林づくりを行う京都モデルフォレスト運動の20周年を契機とし、
再造林のモデル構築や機運醸成を実施
- 公共施設を府内産木材を活用した木造・木質化し、木材の魅力を発信



(3)文化が息づく京都を磨く

新

寛永行幸装束等再現プロジェクト事業費

3千万円規模

寛永行幸四百年祭において装束等を史実に基づき再現



伝統産業等の技術継承や担い手確保につなげるため、
府内の担い手とともに、徳川家光が使用した装束や牛車を再現
⇒行列の再現イベント(12月6日予定)等で展示

新

Kyōto YouMe Triennale開催事業費

5百万円規模

国内外から上質な工芸品が集まるトリエンナーレを初開催

現代美術・工芸・デザインを融合させた国際展覧会を
令和8年10月に東本願寺「渉成園」等において開催



府内各地の工房やギャラリーでの体験等に誘導し、国内外での需要を喚起



(3) 文化が息づく京都を磨く

新

丹後天橋立ミュージアム文化観光拠点推進事業費

7千万円規模

丹後郷土資料館のリニューアルを見据えた丹後地域の文化観光を推進

R9秋開館予定の「丹後天橋立ミュージアム」を核として
丹後地域の文化観光・地域活性化を図るため
体験プログラムの造成や周辺の基盤整備等を実施

主な取組：魅力発信イベントの開催、広報動画の作成、
Eバイク等のポート整備、周辺道路のサイン整備等



拡

歴史的建造物等保存伝承事業費

8千万円規模

国指定文化財建造物に係る保存修理工事の実施

所有者からの委託を受け、府が保存修理工事を実施(3箇所)

<実施箇所> 賀茂御祖神社(京都市)、相楽神社(木津川市)、天満宮(和束町)



(4) 地域に活力を生み出す交流・連携の推進

新 「まるっと・じっくり関西」プロジェクト事業費

2.8億円規模

関西観光本部と連携し、府域を含め関西全域への誘客を促進

訪日外国人旅行者をターゲットに、

伝統産業や文化資源を活用した高付加価値観光や食文化を活用したテーマツーリズム等を推進



新 「まるっと京都」観光ブランド価値強化事業費

府市連携 3千万円規模

国内旅行者の宿泊を促進するため、府市連携の周遊観光を一層強化

国内旅行者の宿泊を伴う周遊観光につながる

デジタルツールを活用した学び・体験型ラリー企画の実施や伝統産業等の歴史・文化ストーリーの魅力発信

など、年代や旅行形態に合わせたプロモーションを実施





(4) 地域に活力を生み出す交流・連携の推進

新

千年の都・鴨川にぎわい創出事業費

府市連携

2千万円規模

鴨川の河川空間と周辺のまちづくり空間を府市連携で一体的に整備

先斗町公園周辺エリア

市が実施する公園整備に合わせ、鴨川との接続路を設置し、
エリア周辺の魅力向上と災害対応力向上



五条大橋周辺エリア

右岸園路を五条大橋下流まで延伸し、高瀬川方面への回遊性向上



新

京都舞鶴港クルーズ誘致・交流促進事業費

6百万円規模

京都舞鶴港へのクルーズ船誘致等による交流促進の取組を実施

- クルーズ船の誘致に向け、金沢港との共同プロモーションを実施
- 舞鶴港西港エリアの魅力向上のため、大野辺緑地周辺の再整備に向け検討を実施



(4) 地域に活力を生み出す交流・連携の推進

新 KYOTO GAMES開催事業費

1千万円規模

府民総体を全世代参加型のスポーツイベントとしてリニューアル

スポーツ参加の裾野拡大を目指し、

府民総合体育大会を「KYOTO GAMES」としてリニューアル

本大会開催中に「KYOTO GAMES フェスティバル」を開催し、
全世代の誰もがスポーツに触れる機会を創出

☆eスポーツやアーバンスポーツを含む体験会やプロ選手によるエキシビションを実施



新 地域未来づくりプロジェクト推進費

1.5億円規模

地域活動団体の自立的・継続的な活動を推進

地域課題解決に向けた活動について、団体連携による取組を重点支援



(4) 地域に活力を生み出す交流・連携の推進

新

「みんなでアクション！」脱炭素推進事業費

4 百万円規模

温室効果ガス削減に向け府民の意識醸成と行動変容を促進

府民が地球温暖化対策に関する情報を収集し、
行動変容につなげられるよう以下の取組を実施



きっかけ
づくり

「WE DO KYOTO！ Plusキャンペーン」による集中啓発

○企業や市町村等と連携した情報発信により、府民の意識醸成を促進

伴走支援

府民向けワンストップ相談支援窓口の設置

R8秋開設

○相談の入口を一本化し、脱炭素行動の実践までを伴走支援

人材育成

「きょうと脱炭素ミーティング」で環境リーダーを育成

○社会に関わり始める中高生を対象に、

企業と連携した育成プログラムを実施



3. 府民の命と健康を守り抜く安心できる京都の確立

- (1) 健やかに暮らせる社会を創る**
- (2) 府民を災害・犯罪から守る**



(1) 健やかに暮らせる社会を創る

新

京都版CDC創設事業費

府市連携

1千万円規模

新興感染症に対応できる新たな組織を府市共同で創設

令和8年10月に京都市と共同で

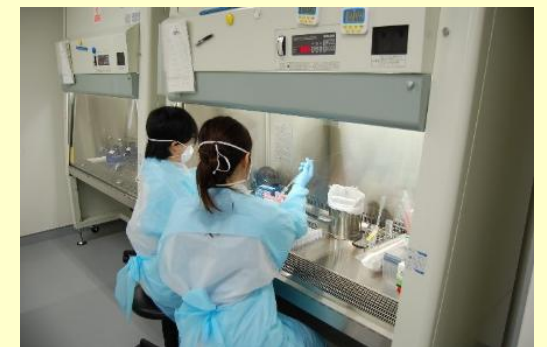
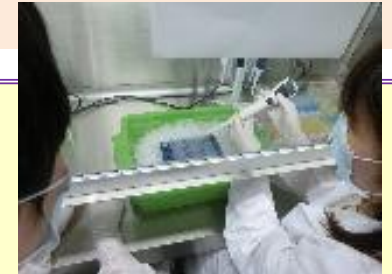
「京都感染症対策センター」を創設

⇒都道府県と政令市で構成する地方版CDCは全国初

○平時には、府内の感染症の流行状況等の情報収集及び発信

○府内の企業、大学、医療機関や他自治体とのネットワークを構築し、有事に備えた情報共有・連携体制を強化

○有事には、大学や研究機関と連携した感染症情報の収集・検査・分析を実施





(1) 健やかに暮らせる社会を創る

新

府立看護学校整備費

47.2億円規模

北部地域の看護師確保・養成・定着のため、看護学校の学舎等を整備

医療の高度化に対応する学習環境や学生の生活環境を整備

⇒北部地域における質の高い看護師確保・養成・定着の拠点機能を強化

【供用開始時期】 学舎：令和9年4月～
学生寮：令和8年8月～



拡

看護学校修学資金貸与事業費

1千万円規模

北部地域の優秀な看護人材確保のため、修学資金制度を見直し

授業料・入学金に加え、新たに学生寮費を対象とした修学資金(2.5万円/月)を貸与

※卒業後、北部地域の病院等で5年間従事した場合は返還を免除





(1) 健やかに暮らせる社会を創る

新

発達障害児早期支援実現モデル事業費

8百万円規模

発達障害児の初診待機期間短縮に向けた支援体制のモデルを構築

乙訓地域に向日が丘発達支援室を設置し、医師が医療的支援の必要性を判断



⇒ 発達障害児を迅速な受診や地域支援につなぐ仕組みを構築

※これを受け、初診待機期間の短縮のために必要な機能を更に検討

新

医科大学附属病院ICU機能強化整備費

2千万円規模

重症患者受入体制強化のため医科大学附属病院のICU病床を増床

高齢化に伴うICU(集中治療室)対象患者の増加が見込まれる中、

16床のICU病棟を整備することで、府民の安心安全を確保

※令和8年度設計 → 令和9年度中完成予定





(1) 健やかに暮らせる社会を創る

新

きょうのつながるひろばモデル事業費

2千万円規模

あらゆる世代の誰もが気軽に集まることができる場のモデルを創出

つながるひろばのイメージ



多世代交流



遊びや文化体験の提供



安心できる場



気軽なふれあい

こどもから高齢者まで幅広い世代が、
食事や遊び、文化体験を通じて交流し、
誰もが笑顔になれる場のモデルを創出





(2) 府民を災害・犯罪から守る

新

京都式あんしん避難所構築事業費

1千万円規模

良好な避難所環境を整備できるよう、市町村や民間との体制を構築

災害時に誰もが安心して避難できるように
するための体制を市町村や民間とともに構築



民間との協働による避難所運営

- 市町村等と良好な避難所の開設・運営の手引きを作成
- 避難所運営の担い手となる「京都式避難生活サポーター」を育成
- 市町村・災害時応援協定締結団体・サポーターと連携した訓練を実施

被災者に寄り添った生活再建支援

- 災害ケースマネジメント推進に向けた訓練や公民連携協議会の設置



(2) 府民を災害・犯罪から守る

新

広域防災活動拠点等整備費

2千万円規模

新たな備蓄倉庫の整備により、支援物資の受入・備蓄機能を強化

重点備蓄物資(食料、飲料水等)の大幅な拡充を踏まえ、その保管場所として
山城総合運動公園内に備蓄倉庫を整備

☆R8~11の間で、府内各エリアに
1,000㎡規模の倉庫を整備



拡

交番・駐在所整備費

3千万円規模

安全で安心できるまちづくりのため、交番・駐在所を計画的に整備

老朽化などにより、更新が必要となる交番の建替えに着手(2箇所)

<更新箇所> 桂交番(京都市)、今里交番(長岡京市)



4. 人・物・情報・日々の生活の基盤づくり



人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

道路整備等の公共事業

104.0億円規模

人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを着実に推進

○成長・交流・暮らしの基盤づくり

→新名神高速道路等の高規格道路へのアクセス道路をはじめ
観光周遊の促進など京都の強みを伸ばすチャンスをつ捉えた基盤整備を推進

○災害からの安心・安全対策

箇所例



内里城陽線
(城陽八幡連絡道路)
【城陽市・八幡市】



国道423号
(法貴バイパス)
【亀岡市】



国道429号
(榎峠バイパス)
【福知山市】



網野岩滝線
(男山バイパス)
【与謝野町】



人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

新

京都次世代モビリティ戦略(仮称)調査事業費

3千万円規模

誰もが気軽に移動できる地域社会の実現に向けた調査に着手

広域的な移動から公共ライドシェア等のラストワンマイルまで
幅広い交通体系についての基礎調査を実施

<調査内容例>

- 府内鉄道路線及び沿線地域における人流ビッグデータの取得・分析
- 公共ライドシェア等の地域交通の状況調査・課題抽出



新

持続可能な地域共創交付金

12.0億円規模

人口減少下における持続可能な地域づくりに向けた市町村の取組を支援

人口減少により生じる地域課題や人手不足への対策、
小規模市町村の行政運営の効率化に資する取組を重点支援

Ⅱ. 中東情勢への対応



中東情勢への対応

中東情勢の緊迫化に伴う原油価格高騰などへの影響に対し、
既存の施策等を動員し、速やかな対応を実施

特別相談窓口
の設置

○影響を受ける中小企業・農林水産業者等にきめ細かく
対応するため、特別相談窓口を設置(R8.3.23～)

伴走支援

○中小企業応援隊や農業改良普及センターによるニーズに
応じた伴走支援を実施

具体的な
支援策

○制度融資による資金繰り支援や生産性向上の取組への
支援、専門家派遣など幅広い施策で対応

今回、国の補正予算で新たに配分されることとなった交付金を活用し
国の電気・ガス料金支援に合わせ、LPガス料金への支援を実施

LPガス価格高騰対策費

2.9 億円規模

1 契約あたり1,000円（上限）の支援を実施し、消費者負担を軽減

⇒引き続き、事業活動や府民生活への影響を注視し、
時機を逸することなく対応

予算案の規模



予算案の規模

※一般会計ベース

令和8年度 現計予算
10,433億円

令和8年度6月補正予算
322億円台

令和8年度
補正後予算額

10,755億円台